

「美郷がいちばん、好きです美郷」



「作ろう ぼくらの仙南米」 仙南東小・総合的な学習の時間より

**収穫の季節。**  
稲刈りに参加した子どもたち。  
美郷町の実り豊かな未来へ  
黄金色に輝く笑顔がまぶしい  
秋晴れの日でした。

## 主な内容

- |               |        |       |
|---------------|--------|-------|
| ●187億円を認定     |        | 2～3   |
| ●経常収支比率悪化     | 主な質疑   | 4～7   |
| ●町政を質す        | 一般質問   | 8～14  |
| ●住民と議会の懇談会を開催 |        | 15    |
| ●組織営農を学ぶ      | 研修報告   | 16～17 |
| ●花炭に魅せられて     | キラリ美郷人 | 18    |



# 一体感を目指した

# 187億3千万円を認定



町民一人ひとりの幸せを願って

**9月定例会を**、9月7日から13日までの7日間の会期で開きました。審議した議案は、平成17年度一般会計決算認定案など22審議。そのすべてを、原案の通り認定・可決・同意しました。一般質問は、6議員が町政をただしました。

## 今

定例会で認定した平成十七年度決算は、美郷町として初めて編成された通年予算です。

「融和と前進」をキーワードに、旧町村の事務事業の統一化や継続事業を基本とし、新規の施策は、地域の再認識や交流促進を視点に編成されました。一般会計・特別会計を合算したまちづくり総予算額は、187億3千万円でした。

は、歳入133億4千760万5千円・歳出124億9千063万5千円で、差引残高8億5千697万円ですが、これには翌年度へ繰り越す財源2千855万円が含まれており、実質収支は8億2千841万5千円の黒字決算です。

議会では11日の本会議で担当職員の説明を受け、12日に総括質疑を行い、全員賛成で認定しました。



まちづくりの種が実りました

人権擁護委員



小川順道さん

**国** 民健康保険や下水道事業など、5つの特別会計決算では、制度上、同額決算となる老人保健特別会計を除き、すべてが黒字決算となりました。

決算認定の結果は、国民健康保険特別会計を賛成多数で認定し、その他の特別会計は全員賛成で認定しました。

特別会計の決算額詳細は、下段の決算総括表をご参照ください。

**そ** の他の議案では、平成十八年度一般会計補正予算に、歳入・歳出それぞれ5億7千749万4千円を追加し、補正後の予算総額を11億7千889万8千円としました。

補正予算の主な内容は、財政調整基金への積立金1億8千464万8千円、町道の災害復旧事業費1億1千082万4千円などです。

また、人権擁護委員に現委員の小川順道さん（六郷）を推薦することに同意し、陳情1件を不採択としました。

以下、本会議での主な質疑を4／7Pに、一般質問を8／14Pに、行政視察報告を16／17Pに掲載します。なお、決算内容や議案の詳細につきましては、広報『美郷』10月号にも掲載しています。

平成17年度各会計の収支決算総括表

単位：千円

区分	歳入決算	歳出決算	差引	認定の結果
一般会計	13,347,605	12,490,635	856,970	全員賛成
国民健康保険特別会計	2,502,002	2,205,556	296,446	賛成多数
老人保健特別会計	2,621,685	2,621,685	0	全員賛成
簡易水道特別会計	920,343	893,808	26,535	全員賛成
下水道事業特別会計	316,400	306,505	9,895	全員賛成
農業集落排水特別会計	212,778	211,441	1,337	全員賛成
合計	19,920,813	18,729,630	1,191,183	

17年度実施した主な事業

- 総合計画策定事業 241万8千円
- ISO14001推進事業 260万3千円
- 町民歌・町民憲章制定事業 71万8千円
- 総合健診事業費 9千091万4千円
- 学校施設環境整備事業 7千058万8千円
- ほ場整備事業支援事業 1億1千705万6千円
- 道路維持・新設改良事業 11億3千739万4千円



主 議 質  
な 案 疑

# 一般会計・経常収支比率

## 96%に悪化

### 一般会計決算質疑

#### 歳入

**高橋猛議員** 経常収支比率が96%と、前年度より悪化している。今後の町

財政をどう予測するか。

**総務課長** 総合計画を十分勘案し、財政と相談しながら今後の方針を決めたい。当然、経常収支比率や公債費比率を加味しながら対応する。

◆ **吉野久議員** 町税の収入未済額6千547万円をどう受けとめているか。  
◆ **税務課長** 大きな額と実感している。17年度は、督促状8千200通、個別訪問で1千713戸実施したが、今後さらに努力する。

**吉野議員** 児童・学童関連での、滞納者への配慮と取り扱いは。  
**学務課長** 給食費は、子

供に知られないよう直接親権者にお願ひし、月々の徴収に努力している。

**幼児教育課長** 幼・保育園の保育料については、滞納に関係なく子供を措置する観点で保育している。徴収は、訪問などで対応している。

◆ **福田守議員** 奨学資金の返済金未納者の内容は。  
◆ **学務課長** 未納が3件で、過年度分から月割りでお願いしている。

#### 歳出

委託費の内容は、また駅への定期バス申請や循環バス計画があるか。

**企画課長** 生活バス路線補助は、6路線で合計1千690万6千円、飯詰駅管理委託費は、251万8千円だ。定期バスの申請はしておらず、巡回バスや乗合タクシーを今後検討する。

◆ **熊谷議員** 交通指導隊のイベント時の出動手当は主催者負担か。  
◆ **住民生活課長** 出動手当は、交通安全の観点から町の予算で支出している。

◆ **吉野久議員** 監査委員の意見にある貸金単価の妥当性の検討内容と、灯油など相場変動で単価が変わるものの契約内容は。  
**総務課長** 貸金単価は、

前年度貸金や社会情勢を吟味し決定している。灯油などは、業者と相談しながら数ヶ月単位で契約している。

◆ **飛澤龍右工門議員** 国体の自転車ロードレースコース設計監理委託料は、8月20日のリハーサル大会に活かされたか。また、民泊対応の進捗状況は。  
**国体準備室長** 今回、本番のコースを想定して行われ大方クリアした。民泊は、現時点で7割だ。





### 【民生費】

熊谷良夫議員 昨年の敬老会は不評だったが、今年はどう対応するか。

福祉保健課長 今年度は、先の日曜日の千畑地区を皮切りに開催しているが、記念品を再検討して保健師の講話と運動、演芸を行った。参加者からは好評を得た。

泉美和子議員 子供の虐

待などの早期発見と対応を図ったとあるがその内容は。

福祉保健課長 重大な事態の発生はないが、虐待が疑われるケースが何件もあり、県の南児童相談所と連携をとり早めの対応を心がけた。

### 【農林水産業費】

熊谷良夫議員 こだわり米作付支援事業の効果と価格への反映、また地域は拡大する方針か。

農政課長 現在、対象者が173名で対象面積が245㍍ある。価格は、通常販売より千円ほど高く販売される。将来的に、美郷町米がブランド化し、有利販売されることが望ましい。

武藤威議員 品目横断的経営安定対策の進み具合は。

農政課長 536の認定農家と43の集落営農組織、8つの法人がある。

### 【商工費】

吉野久議員 商工業者の廃業者が多いが、第2次中心市街地活性化事業のような取り組みも必要ではないのか。

商工観光課長 高齢化など、廃業の原因はあるが、今後はインターネット利用の物販や地産地消事業など、町ぐるみの取り組みを条例化を含めて計っていく。中心市街地活性化事業は法の改正を見ながら検討する。

### 【土木費】

熊谷良夫議員 東大通り線は、住環境の整備や下水道事業と併せて事業実施するべきと考えるが。建設課長 メリットのあ

る道路にするため、全体構想を考え合わせ検討する。

【消防費】

飛澤龍右工門議員 防火水槽の設置基準と今後の計画は。

住民生活課長 水道普及



地域では消火栓を優先させるが、未普及地域については、消防分署と調整を計る。

吉野久議員 消防団の分団数の見直しとコミュニティ消防センターの設置は。

住民生活課長 分団によって定数のばらつきがある。区域の見直しを含めて団の幹部で調整の話合いをしている。コミュニティ消防センターについては今後検討していく。

深沢義一議員 消火設備の除排雪管理は。

住民生活課長 団員に管理をお願いしている。

### 【教育費】

泉美和子議員 六郷公民館のトイレの改修とバリアフリー化は。

社会教育課長 トイレだけでなく、暖房や下水の接続なども一緒に考えていきたい。

# 国民健康保険特別会計

## 賛成多数で可決

### 特別会計決算質疑



国民健康保険特別会計  
《賛成多数で可決》

#### 反対討論

泉美和子議員 決算では3億円の繰越金が出ている。負担増を避ける立場から認定には反対だ。

#### 賛成討論

鈴木一議員 予算の重点配分や効率的な財政運営がされており、決算認定には賛成だ。

#### 下水道事業特別会計

熊谷隆一議員 全員協議会で加入率の問題が報告されているし、また収入未済額が多いが、事業の住民への説明はどうなっているのか。  
建設課長 17年度人数630人。金額で980万の未済額となっている。職員が督促など鋭意努力している。

### その他の議案質疑

#### ◆国民健康保険条例の一部改正について

武藤威議員 葬祭費を13万円から7万円に改める根拠は。  
住民生活課長 近隣市町村などを十分調査し7万円とした。  
武藤議員 県からの指導的なものか。  
住民生活課長 直接の指導はなく、通知などにより見直しをした。

#### ◆簡易水道給水条例の一部改正について

泉美和子議員 加入金9万円を分割納付できないか。  
建設課長 今の段階では考えていない。  
町長 分割納付が加入促進にどの程度効果があるかを十分検討し、今後の検討課題にしたい。





## 審議された議案

- 認定第1号 平成17年度美郷町一般会計決算認定について
- 認定第2号 平成17年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について
- 認定第3号 平成17年度美郷町老人保健特別会計決算認定について
- 認定第4号 平成17年度美郷町簡易水道事業特別会計決算認定について
- 認定第5号 平成17年度美郷町下水道事業特別会計決算認定について
- 認定第6号 平成17年度美郷町農業集落排水事業特別会計決算認定について
- 議案第52号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第53号 字の区域の変更について
- 議案第54号 美郷町土地開発基金条例の一部改正について
- 議案第55号 美郷町手数料条例の一部改正について
- 議案第56号 美郷町障害者福祉施設サンワーク六郷の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 議案第57号 美郷町国民健康保険条例の一部改正について
- 議案第58号 美郷町簡易水道給水条例の一部改正について
- 議案第59号 美郷町企業誘致条例の一部改正について
- 議案第60号 平成18年度美郷町一般会計補正予算第3号
- 議案第61号 平成18年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第2号
- 議案第62号 平成18年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号
- 議案第63号 平成18年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第2号
- 議案第64号 平成18年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第2号

※その他専決処分案3件



### 一般会計補正予算

泉美和子議員 六郷中央公園の掃除は、もう少し早く発注することが出来ないか。また、歩道の並木・立ち木の管理を業者に委託してどうか。  
建設課長 今年豪雪ということもあって、発注が遅れた。

吉野久議員 ごみの集積場所は、行政区の再編により変わるか。  
熊谷隆一議員 チャレンジ女性農業者海外研修補助金の内容は。  
農政課長 県が事業主体

住民生活課長 既設のものを使用する。増設・移転は考えていない。

武藤威議員 善知鳥坂橋の欄干の補正工事はどうするか。  
建設課長 全部解体するのは困難なので、70センチの高欄を90センチにする。

### 陳情

不採択としました

■中国における法輪功学習者の臓器摘出の実体調査を求める陳情書

特定非営利活動法人 日本法輪大法学会

代表 鶴蘭雅章

で、11月25日から12月2日の8日間ニュージーランドに研修に行く予定だ。

### 議会の動き

7月

28日 第5回

議会臨時会  
議会全員協議会

8月

31日 議会運営委員会

9月

6日 議会全員協議会  
7日 第6回  
議会定例会

7日

議会広報  
特別委員会  
(9月13日)

10月

5日 議会広報  
特別委員会

11日

議会広報  
特別委員会

13日

公共施設・主要  
事業視察研修会

## 6人の議員が一般質問

# 町政を 質す<sup>ただ</sup>

今定例会の一般質問では、6人の議員が登壇し、町長に施策を尋ねました。

以下、主な質問と答弁を要約してお知らせいたします。

### ○質問者

戸澤	勉	議員
武藤	威	議員
澁谷	俊二	議員
深沢	義一	議員
吉野	久	議員
泉	美和子	議員



# 東大通り線をどうする

## 休止の意向だ

業の検討をしていくが、来年度は休止の意向で、町の健全財政を基本とし、住民の理解と信頼を大切にしたい取り組みが肝要と認識している。

**戸澤 勉議員** 六郷地区で工事中の東大通り線改良舗装工事について、工事の目的・変更時の工事中止検討の有無・工事費用・工事中止の是非・町民への経緯説明の5点について伺う。

目的で始まり、60年に幹線及び宅地供給路線としての整備、平成12年に町道認定の変更を追加した事業と理解している。また、路線変更時の中止検討の有無は把握が困難。工事費用は、3ヶ年で1億2千8万1千円の予算状況である。今後は、あらゆる可能性を視野に入れながら事



戸澤 勉 議員



# 生活保護を受けやすく

## 相談に応ずる

**武藤威議員** 社会保障制度の改悪、生活保護の利用者は毎年増えているが、まだまだ利用しやすい状況とは言えない。

最低水準の生活費の割合や、持っている財産の範囲など利用資格の把握についてはどうなのか。福祉事務所や、役場の対応が厳しくなっていると

いう声もある。申請用紙

をカウンターの上に置くことはできないか。

**町長** 生活保護の利用資格状況の把握については、実際に申請がなされ、必要な調査を行わないと判断できないが、生活保護法第4条では、資産、能力、その他あらゆる物を最低限の生活を維持するために活用する事が要件となっている。該当す

るかどうかの要件確認調査と決定は県の南福祉事務所で行う。町では民生委員と協力して各種相談

に応じているほか、医療券の交付や保護申請を受け付けているが、今後申請用紙は自由に持つていけるようにする。現在町の生活保護受給世帯は83世帯である。

## 子供に環境学習を

**武藤議員** 今年もつくば市から36人の児童と11人の先生、筑波大の教授も一緒に、地下水やその源となる山やブナ林など、自然環境学習のためにやって来た。美郷町は山々や水田、小川、堰など自然に恵まれているが、果たして地元の子供たちには、そんな環境学習や自然体験が行われているの

か、町内の学校交流も合わせて実施するべきと考える。

**町長** 8月6日、つくば市から児童36人が美郷を訪れ、清水や丸子川、ブナ林等で調査や見学を行っている。

8月12日から、美郷の児童42名がつくば市などを訪れ、霞ヶ浦の水質や水生生物の調査や学習を行っている。総合的な学習や、生涯学習の時間を利用して自然環境学習は、今後もおおいに続けたいし、来年度はつくば市と美郷町の子供たちと一緒に学習させたい。



## 事故の責任は

**武藤議員** 冬期間の立木からの落雪や、町道の陥没による物損等報告されているが、その他の学校における事故や町有施設などにおける災害や事故の賠償責任はどうなっているのか。

**町長** 町の管理施設などで、瑕疵があれば賠償責任はあると考えるがケースバイケースだ。損害賠償については、全国町村会総合賠償保険で対応する。学校管理下での事故については、独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づく災害共済

制度から共済金が給付される。スポーツ少年団はスポーツ保険の加入が義務づけられている。

## アナウンスに工夫を

**武藤議員** 国体のリハール大会は町関係者はじめ、多くのボランティアや町民の協力で成功を収め、来年の国体は間違いないと感じた。更に良くするために、ロードレースでの途中経過やトラックレースでの選手紹介、タイムの発表のタイミングなどアナウンスを工夫すれば、本番はさら

にすばらしい国体になると思うが。  
**町長** リハール大会の改善点や課題については、競技役員やスタッフから意見を寄せていただき、それをとりまとめ12月のバドミントンの大会や来年の国体本大会に活かしていきたい。競技運営やアナウンスは、競技団体が担うものだが、提案内容を詳しく伝える。



武藤 威 議員



## 対象年齢の引き下げを

## 現行制度を維持したい



澁谷俊二議員

**澁谷俊二議員** 高齢者の健康維持増進を図るため、満65歳以上の町民の方々に施術費用の一部を助成しているが、現在は、高齢者でなくとも足腰に痛みを感じ、悩んでいる方が少なくない。しかし、費用面を考えると簡単に治療を受けることが出来ないのが現状だ。

町民の健康を守るためにも、費用の一部助成年齢を引き下げる必要があると思うが町長の考え方をうかがう。

**町長** 対象年齢の引き下げの提案だが、年齢を引き下げるとは制度の意

義や施術の位置づけを根幹から考え直すことになり、現段階では現行制度を維持していきたい。

現在町では、町民の健康対策として、総合健診や生活改善を通じた生活習慣病予防活動や、だれでも気軽に体力づくりを図れる美郷元氣アップ塾、体を動かすことによつて腰痛などを軽減させる操体法の普及に取り組んでいる。

本助成制度の対象となる方々も含め、こうした事業に参加して健康の維持増進に努めていただきたい。

## 南部斎場へ車イスを

## 早急に配置するよう要望する



**澁谷議員** 南部斎場は、親族はもとより親類縁者や友人など、故人との別れを惜しむため多くの方々が訪れるが、中には体の不自由な方もいると考える。特に足の不自由な方には、車イスが必要だ。管轄外かもしれないが、行政の支援も必要と

思い町長の考えをうかがう。

**町長** 現在、南部斎場のみならず、中央斎場や北部斎場においても車イスは配置されていないようだ。しかし、故人との別れを惜しむため、多くの方々が訪れる施設でもある。中には、体調のすぐ

れない方や、身体に障害をお持ちの方もいらっしゃるだろう。

これまで車イスが配置されてこなかったことに課題があるものと考え、管理主体の広域市町村圏組合に対して、早急に配置していただくよう要望していく。

# 結婚問題—町の積極的な対応を

## 来年度に向けて検討する

**深沢義一議員** 町が行うすべての事業は将来につながるものであり、また、将来の不安を見据えての事業である。そして、その町の原点は家庭であり家族である。

町は、その家庭・家族が将来とも安心して暮らせる町づくりを目指して、さまざまな施策を実施しているが、この結婚問題については、今一歩実効性を探りながら取り組む

必要があると考える。

プライバシーや内なるデリケートな面など簡単な問題ではないが、合併のスケールメリットを生かし、さまざまな組織団体に呼びかけ、連携した取り組みにより、まずは今一歩踏み込むべきと考え、町長、農業委員会会長の考えを伺う。

**町長** 結婚問題については、出合いの場創出事業「こみっと」を実施し、



深 沢 義 一 議 員

## 安定経営に向けた情報提供を

### 経営仕様や優良事例を紹介

そのキツカケをつくってもらうようとしているが、女性の応募者が極めて少なく交流するまでに至っていないのが実情だ。

こうした状況を踏まえ、来年度に向けてこれまでの取り組みを総括し、今後の取り組みについて検討する。

なお、広域的な観点から、町村会として県に対して結婚問題に対する活動展開を要望する予定だ。

**時野農業委員会会長** 農家のみならず、美郷町全体の問題と考えており、農業委員活動の一つとして情報交換し、結婚に結びつくよう努力する。

**深沢議員** 平成19年度からの新たな経営安定対策としての集落営農の考え方については、町の率先した説明会などでかなり浸透し、実際の取り組みにも結びついているところだ。

今後は、こうした組織営農が安定的に経営するための資料など、情報の提供が必要と考える。また、それが美郷ブランドの確立にもつながるものと思うが、今後の町の対応は。

**町長** 集落営農については、組織を設立すること

が目的ではなく、設立した後の営農活動が継続的に安定して展開されることが重要と認識している。

そのためには、農業所得の向上を見据えて、町のブランド品目も組み合わせた複合部門の確立が重要であると考え。そのため、技術指導に加え、経営的な指導として各種制度にかかわる資料、パンフレット、経理事務の手引き、さらにはブランド品目を取り入れた場合の経営指標、県内の優良事例などの情報を提供していきたい。



# 防災無線の代役にFM局開設を望む

## 先行事例を調査し是非を検討



吉野 久 議員

**吉野久議員** 行政主導で、既存第三セクターで運営する、地域密着と住民参画、夢の実現を基本コンセプトにした『コミュニティFM局』の開設を提案する。

まちづくりでの効果は、町と住民の夢と文化の創造、地域住民の連帯感・一体感の醸成、福祉の向上と産業の活性化が期待される。そして、FM局開設そのものが『防災情報システムの構築』になると考える。

町づくりに活かせる放送。また、小・中・高校生や若者の企画を尊重し、町民参画を基本として人づくりに活かせる放送。そして、芸術文化や社会教育・体育振興、農・工・商業の活性化、高齢者の生きがいづくりなど、あらゆる方面での夢づくりに活かせる放送とする。

また、現在コミュニティFM局は全国に190局ほどあるが、そのほとんどが行政と防災協定を締結している。

設備費が3千万円程度で、防災無線に比べ初期投資額が少なく、電力が

寸断された阪神・淡路大震災や中越地震では、被災者にとって貴重な情報源になったと評価された。最近では、初めから防災目的の趣旨で開設する市町村も増えている。

以上の観点から、合併美郷町のまちづくりのために、また、災害の事前と事後を勘案した地域防災のうえでも、コミュニティFM放送局を開設するべきと考えるが、町長の見解をうかがう。

**町長** 平成4年に制度化されたコミュニティFM放送は、地域の特色を活かした番組を通じて身近な情報提供を行うと共に、住民の番組出演や制作参加で、住民自らがまちづくりに貢献できる情報手段として注目され、現在全国で190局、県内では、秋田市2局、湯沢市に1局開設されている。

また、連帯感や一体感の醸成に加え、災害や緊急時、その被害状況や避



難指示など、必要な情報を即座に提供できる側面も兼ねており、優れたコミュニティケーション手段の一つとして私も認識している。

しかし、運営体制やスポンサー確保を含めた採算性、初期投資財源の確保など様々な課題解決が必要だ。また、昨年度策

定した地域防災計画では、今後、防災行政無線の整備の検討を定めている。

この事を踏まえたうえで、今後、県内の先行事例の課題への対処状況や運営状況、住民の参画状況などできるだけ詳しく把握し、その是非を検討していきたい。

# 障害者施設の現状は

## 現在のところ退所者はいない

**泉美和子議員** 障害者自立支援法が10月から本格施行となり、既に4月から原則一割の応益負担が

導入され、大幅な利用者負担増による施設からの退所や報酬の激減による施設運営の悪化など、深刻な問題が噴出している。

NHKでも自立支援法の実施で福祉現場の異変など、施設を退所せざるを得なくなった実態が放映されていたが、当町では通所をやめたり退所したりという事態はないか。  
**町長** 3月において、障害者施設の入所、通所サービスの利用者は104名で、同法施行後の4月以降にサービスを利用していない方は5名。理由は、介護保険サービスの利用や一般就労の準備などで、負担増によるもの

ではないと把握している。また、退所者はいない。

### 待遇後退するな

**泉議員** 給食センターの新体制で、職員の労働条件など待遇に後退がないよう求めるが、業務委託先とあわせてどのような検討をしているか。



泉 美和子 議員

また、六郷地区の児童生徒は弁当方式と食缶方式に別れるが、保護者

に対する説明は行ったか。あわせて給食費についてもうかがう。

**町長** 来年度から、新たに仮称「美郷町学校給食

協会」を立ち上げ、統一して委託したい。

職員の処遇については美郷町学校給食協会の雇用条件での採用を検討している。また、臨時・パートの方々については、職員の雇用状況が固まっ

てから検討する。配食方法については、教育委員会ですべてのPTA時に説明しており、さらに7月23日には六小を会場に2校合同の試食会を実施して、概ね理解はいただけたものと認識している。

給食費については、総合的に考慮し小学校255円、中学校285円にしたい。

### 自由の侵害だ

**泉議員** 教育基本法の改正案は、徳目を列挙して国を愛する態度を入れて、それを学校、子どもに義務づけるやり方が盛り込まれている。時の政府により特定の価値観を子供たちに強制されることになり、憲法で保障する思想、良心、内心の自由への侵害と考える。

**教育長** 教育基本法は教育の憲法であり、その例に従って、等しく国全体が育まれるべきと考える。教育のあり方については、人や立場によっていろいろ考え方があってもいいが、この改正に当たっては、より高度で専門的識見のある方々が十分検討された結果であり、私も一町村の教育委員会が論ずるレベルの問題ではないと考えている。



是非ご参加ください

# 「住民と議会との懇談会」を開催

町内9会場で皆さんをお待ちしています

日時	地区	会場	担当班
10月26日 (木) 午後7時～	仙南地区	金沢コミュニティーセンター	1 班
		仙南公民館	2 班
		金沢西根コミュニティーセンター	3 班
10月27日 (金) 午後7時～	六郷地区	六郷交流センター	1 班
		六郷公民館	2 班
		もとだて児童館	3 班
10月30日 (月) 午後7時～	千畑地区	ふれあいセンター	1 班
		千畑福祉センター	2 班
		土崎コミュニティーセンター	3 班

地方分権の推進により、  
町民の自己決定権や事  
責任が拡大するなかで、  
まちづくり政策決定過程  
での住民参加が極めて重  
要になってきています。  
町議会では、議会の機

能を高め、住民参画型の  
議会を目指すために、議  
会活動の状況を地域に出  
向いて町民の皆さんに直  
接報告・説明し、町政に  
関する情報の提供に努め  
るとともに、議会活動に

班	1 班	2 班	3 班
出席 議員	澁谷 俊二 杉澤 隆一	鈴木 一 中村美智男	伊藤 福章 戸澤 勉
	吉野 久 福田 守	熊谷 隆一 泉 美和子	武藤 威 熊谷 良夫
	戸沢 藤一 泉 繁夫	鈴木 良勝 高橋 正治	中村 利昭 齊藤新一郎
	高橋 猛	深沢 義一	飛澤龍右工門 森元 淑雄

対するご意見や、町政に  
対するご提言などを直接  
お聴きする「住民と議会  
との懇談会」を次の日程  
で開催します。  
多くの皆さんのご参加  
をお待ちしています。



■問合わせ 議会事務局（千畑庁舎）TEL0187-84-4912





## 7/19 地域に根ざした大規模農業法人の状況視察

・視察地 新潟県魚沼市 (有) サンライス魚沼



2日目は、年間の売り上げ高一億円を越す大規模農業法人、有限会社サンライズ魚沼を視察しました。旧湯之谷村にあるこの法人は、平成7年に農業機械の共同利用を目的に設立され、現在は若者の雇用も含め、従業員12名で稼働しているとのことでした。組織、経営の概要は下記のとおりです。今後の大規模な組織作りに向けた優良事例として大変参考になりました。



### ■ 経営の概要 ■

#### ● 稲作事業部門

18年度経営面積 34.9ha (圃場 233枚 平均面積 15a)  
 水稻作付面積 28.8ha  
 (コシヒカリ26.6ha こがねもち2.2ha)  
 減反 6.1ha (主に飼料用稲)

#### 作業受託

18年春作業 27.0ha 耕起代掻7.7ha 田植19.3ha  
 17年収穫作業 19.2ha

#### ● 利用事業部門

18年育苗センター播種枚数 32,602枚  
 内販売枚数 26,348枚  
 17年ライスセンター処理量 荷受重量 512t 製品重量 345t  
 利用者数 108名

#### ● 基盤整備部門

小規模基盤整備工事の請負 3.7ha

#### ● 加工部門

もち加工製造販売 75.0俵 約5400kg

経営の推移

	10年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
経営面積 ha	15.7	24.3	21.9	23.9	26.4	30.7
作業受託 ha	41.1	66.9	61.1	59.7	42.9	42.3
育苗販売枚数 (枚)	37,111	29,634	27,036	25,141	25,885	26,864
ライスセンター処理量 (俵)	4,896	6,092.5	5,440.5	5,605.5	5,619.5	5,750.5
基盤整備面積 ha	6.0	7.3	3.3	3.2	3.8	3.1
もち加工処理量 (俵)	114.5	110	67.7	72.0	81.0	75.0
総売上高 (千円)	92,073	100,280	99,165	92,816	102,071	106,992
収支 (千円)	△3,803	3,272	3,775	2,584	8,581	7,979
従事者数 (人)	6	8	9	9	9	10

### ■ 組織概要 ■

● 資本金 現在25,200,000円

#### ● 事業目的

- (1) 農産物の生産、加工、販売に関する事業
- (2) 農作業の代行、請負、受委託に関する事業
- (3) 観光農園の設置並びに経営に関する事業
- (4) 農地の維持管理又は農地の取得に関する事業

#### ● 役員及び従業員

非常勤役員 1名 非常勤監査役 1名  
 常勤役員 2名 従業員 8名

#### ● 労働条件及び労働保険加入状況

労働時間 AM 8:00~PM 5:00  
 休日及び休暇 休日 4週8休  
 休暇 年末年始、お盆  
 給与 月給制、賞与(年2回)、  
 昇給(年1回)  
 加入保険 労働保険(労災、失業)、  
 社会保険、厚生年金

## 7/20 都市交流市表敬訪問

・視察地 茨城県つくば市

※旧六郷町と水を通しての交流が始まりで、現在も小学校間の交流が続いています。(紙面の関係上、紹介のみとします)



あいさつをする市原市長

# キシリーズ ラリ 美郷人 VOL.4

## 花炭はなすみに魅せられて

二垣 義和さん  
(美郷町六郷在住)



皆さんは『花炭』って知っていますか。鑑賞炭ともいわれ、木の実、花、葉、果物などを炭化させて作る炭の一種で、500年ほど前から茶道の世界で使われ「飾り物」として珍重されてきたようです。美郷町六郷で建設業を営む二垣義和さん(50歳)は、4年前から趣味としてこの『花炭』を作り始め、現在「炭工房・バンブー」を立ち上げて販売もしています。花炭に取り組んだきっかけは、薪ストーブの上に置いた食べ残しのバナナがそのまま炭に変わったことから。以来、ナス

やレンコン、パイナップルなど色々な野菜や果物に挑戦し、商品化できるまでに漕ぎつけました。独自に開発した制作方法は、昨年の12月「知的所有権」として文化庁に登録しています。二垣さんは、「部屋のインテリアとしてだけでなく、消臭や除湿、マイナスイオンを発生させリラックス効果もある花炭を、美郷の特産品として育てたい」と語ってくれました。



■問合せ先  
「炭工房・バンブー」  
☎0187-84-3064

### 編集後記



小学生の頃、日の丸の旗をふって昭和天皇をお迎えした秋田まごころ国体から今年で47年。来年の秋田わか杉国体まで365日を切った。各スタッフやボランティアの人たちは、大会の成功を心に期してカウントダウンを始めているに違いない。

6月の議員による町内の公共施設・主要事業視察や、9月の決算認定の議論などから、各地域の事がだんだん見えてきた。語り合いを深めて、お互いを理解し合う事ができれば、小さい町だが大きな力を発揮できそうだ。

参加選手も、町民もスタッフも、皆心に残るすばらしい国体になりそうだ。  
(熊谷 隆一)

\*\*\*  
次回定例会は、十二月中旬を予定しています。傍聴を、お待ちしております。